



1

2 会話の終わりを示す言い方に着目する。

3 (1) Aは本来降ってくるはずのもの。Bは車にまつわる部品の中で、時雨から連想されるもの。

(2) 頭雅が「時雨」と「車」を入れ替えて言ってしまったということから探す。

2

2 レ点……一字だけ上の字に戻る。

一、二点……二字以上離れた上の字に戻る。

3 指示語の内容は、直前にあることが多い。

「これが足」の「が」は主語を示すのではなく、「この足」という意味。

4 「(蛇の足が)いまだ」に続く言葉である。「ざる」は打ち消しの助動詞「ず」の連体形。

5 会話に入る直前の言い方と、会話の終わりを示す言い方「と」に着目する。

3

1 前半の第一句、第二句では蝶のことを、後半の第三句、第四句では燕のことを対比的に書いている。

2 「有旧巢燕」を「④①②③」の順で読む。

「燕」から「有」へ二文字以上返る。

3 「花が開く」は、漢詩Aの「花開(花開けば)」に対応する。

直後に「蝶満枝(蝶枝に満ち)」とあることに着目する。

5 空欄の直前に「燕のように」とあるので、燕のことを書いた第三句、第四句に着目する。

第三句、第四句の意味は、解説文Bの二、三行目に「ただ燕は今年も同じ巢に帰ってくる」とある。これを、人に例えるなどのような意味になるかを考える。